

| | | | | |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------|---------|
| 免許状教科 | 中学校一種社会 | | | |
| 科目名 | 社会科・地理歴史科 の教育 | 科目分類 | 教職科目 | |
| | | | 経済学部 | ■必修 □選択 |
| | | | 学科 | □必修 □選択 |
| 英文表記 | Social Studies, Geography and History Education | 開講年次 | □1年 □2年 ■3年 □4年 | |
| | | 開講期間 | □前期 □後期 ■通年 □集中 | |
| ふりがな | かまだゆきお | 修得単位 | 4単位 | |
| 担当者名 | 鎌田 幸男 | 実施方法 | ■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用 | |
| 授業のテーマ | 模擬授業を通じて教育実習に役立つ学習内容と指導方法を考える。 | | | |
| 到達目標 | 中学校の社会科・地理歴史科の指導方法と生徒の実態を知ることの大切さを考える。また教材研究の意義を具体的に知る。 | | | |
| 授業概要 | 中学校の社会科系分野（公民・地理・歴史）の学習指導要領はどのようになっているか、具体的に知る。模擬授業の意義、指導案の作成、教材研究の在り方。教材の精選、授業方法などを取り上げる。各人の模擬授業を通じて、生徒の立場からと自己の立場から意見交換や評価をしあう。そして授業意識の高揚を図る。模擬授業の経験を積むことが大切である。 | | | |
| 授業計画 | | | | |
| 第1回 | オリエンテーションー授業の概要説明。 | 第17回 | 模擬授業 (3) 意見交換。 | |
| 第2回 | 教育課程の仕組みと学習指導要領改訂について。 | 第18回 | 模擬授業 (4) 意見交換。 | |
| 第3回 | 学習指導要領の変遷 (1)。 | 第19回 | 模擬授業 (5) 意見交換。 | |
| 第4回 | (2)。 | 第20回 | 模擬授業 (6) 意見交換。 | |
| 第5回 | 新学習指導要領について。 | 第21回 | 模擬授業 (7) 意見交換。 | |
| 第6回 | アクティブラーニングの指導法とは。 | 第22回 | 模擬授業 (8) 意見交換。 | |
| 第7回 | 反転授業とはどのような学習法か。 | 第23回 | 模擬授業 (9) 意見交換。 | |
| 第8回 | 模擬授業の意義と方法について。 | 第24回 | 模擬授業 (10) 意見交換。 | |
| 第9回 | 学習指導案の作成にあたって (1)。 | 第25回 | 模擬授業 (11) 意見交換。 | |
| 第10回 | (2) | 第26回 | 模擬授業 (12) 意見交換。 | |
| 第11回 | 先輩 (4年生) の授業見学 (パワーポイント使用)。 | 第27回 | 模擬授業 (13) 意見交換。 | |
| 第12回 | 模擬授業の準備と構想 (図書館にて) | 第28回 | 模擬授業 (14) 意見交換。 | |
| 第13回 | 模擬授業を実施するにあたっての意見交換。 | 第29回 | 模擬授業 (15) 意見交換。 | |
| 第14回 | 模擬授業 (1)、意見交換。 | 第30回 | 社会科系教師に求められるもの。 | |
| 第15回 | 模擬授業 (2) 意見交換。 | 第31回 | まとめ | |
| 第16回 | 前期定期試験 | 第32回 | 後期定期試験 | |
| 授業時間外の学習 | 現代社会の様々な課題に関心を持ち、特に教育に関する新聞記事などに積極的に目を通す。 | | | |
| 履修条件 受講のルール | 教職の資格を取得するというばかりでなく、教師をめざすという高い意識のもとで取り組んでほしい。他の学生が行う模擬授業も自分が行っていると同じように真剣に受け止めて意見交換をしてほしい。必要に応じて資料を配布するが、欠席した学生には原則配布しない。 | | | |
| テキスト | 使用しない。 | | | |

| | |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 参考文献・資料 | 中学校学習指導要領（最新版）社会編解説。その他は講義時に随時紹介する。 |
| 成績評価の方法 | ① 定期試験（50％）—前期（25％）、後期（25％）、②指導案（30％）、③模擬授業（20％）、①②③の総合評価とする。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。 |
| オフィスアワー | 金曜日（11:00～12:30）これ以外の場合は事前連絡により日程調整をする。 |
| 成績評価の基準 | 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) |
| 学生へのメッセージ | すべての物事に前向きな姿勢と態度をもって臨んでほしい。 |